

郡市	總數	男	女
藤津郡	一、六一六	五、一五〇	四、〇〇六
熊本縣	一、五五、七五	七五、〇〇〇	八〇、七五〇
熊本市	一、八二、二六	八五、〇〇〇	九七、二六〇
八代市	四、六六一	一八、七七七	一八、八八三
人吉市	七、三二一	一六、九〇〇	一六、九〇〇
荒尾市	九、三三四	一八、七〇六	一八、七〇六
飽託郡	九、三三六	一八、〇九〇	一八、〇九〇
宇土郡	五、三三三	一〇、九〇〇	一〇、九〇〇
玉名郡	一、二六、六五	六、一〇八	六、一〇八
熊本郡	九、八七三	一八、〇〇〇	一八、〇〇〇
菊池郡	一〇、〇四一	一八、八〇〇	一八、八〇〇
阿蘇郡	一〇、〇九〇	一八、〇一七	一八、〇一七
上益城郡	一〇、三三七	一八、七四〇	一八、七四〇
下益城郡	一〇、三三七	一八、七四〇	一八、七四〇
八代郡	九、五五三	一八、七四〇	一八、七四〇
葦北郡	九、二七四	一八、〇三九	一八、〇三九
球磨郡	九、五三三	一八、〇三九	一八、〇三九
天草郡	三、六一五	九、一八〇	九、一八〇
宮崎縣	九三、六六七	四六、二〇一	四七、四六六
宮崎市	六、八八八	三、二二六	三、六六二
都城市	一、三三〇	七、〇四八	三、八三三
延岡市	五、九五四	三、〇六〇	三、〇九四
宮崎郡	七、三三九	三、一四一	三、一三三
西那珂郡	一、五、三三七	四、七三三	三、五〇四
北諸縣郡	一、五、六〇〇	四、〇六八	三、五三三
西諸縣郡	一、三、九六六	四、八八八	三、三三四
東諸縣郡	一、二、八四〇	三、〇〇九	三、〇三三
兒湯郡	一、二、九七七	三、〇〇九	三、〇三三
東臼杵郡	一、二、九七七	三、〇〇九	三、〇三三
西臼杵郡	一、二、九七七	三、〇〇九	三、〇三三
鹿兒島縣	一、五八、〇〇〇	九、九〇〇	九、九〇〇
鹿兒島市	三、六六八	一、七三三	一、九三三
川内市	三、五九六	一、五三三	一、九三三
鹿屋市	五、五八八	二、四三三	二、四三三
鹿兒島郡	一、〇、七三六	三、五三三	三、五三三
揖宿郡	一、〇、三三四	三、〇〇〇	三、〇〇〇
川邊郡	一、四、七〇四	四、五三三	四、五三三
日置郡	一、六、三二六	五、〇三三	五、〇三三
薩摩郡	一、五、三三〇	四、七三三	四、七三三
出水郡	一、五、九六一	四、七三三	四、七三三
伊佐郡	一、九、三三〇	五、七三三	五、七三三
始良郡	一、三、三三〇	三、七三三	三、七三三
贈吻郡	一、三、九六一	三、七三三	三、七三三
肝屬郡	一、三、三三〇	三、七三三	三、七三三
熊毛郡	一、三、三三〇	三、七三三	三、七三三
北海道	三、五八、〇〇〇	一、七三、六三三	一、七三、三六六
札幌市	三、〇、三三〇	一、五、三三三	一、五、〇〇〇
旭川市	九、三三〇	四、三三三	四、〇〇〇
小樽市	一、五、三三〇	六、三三三	六、三三三
函館市	一、八、三三三	七、三三三	九、〇〇〇
室蘭市	九、一七六	四、三三三	四、八四三
釧路市	五、〇三三	二、三三三	二、七〇〇
帶廣市	九、九三三	三、三三三	三、三三三
北見市	五、九三三	一、八三三	一、八三三
夕張市	四、六三三	一、三三三	一、三三三
岩見澤市	四、一三三	一、三三三	一、三三三
石狩支應管内	一、九、三三三	六、三三三	六、三三三
空知支應管内	一、七、三三三	五、三三三	五、三三三
上川支應管内	一、三、三三三	四、三三三	四、三三三
後志支應管内	一、三、三三三	四、三三三	四、三三三
檜山支應管内	九、〇三三	三、三三三	三、三三三
渡島支應管内	三、三三三	一、三三三	一、三三三
膽振支應管内	一、四、三三三	四、三三三	四、三三三
日高支應管内	一、五、三三三	四、三三三	四、三三三
十勝支應管内	一、六、三三三	四、三三三	四、三三三
釧路國支應管内	一、八、三三三	五、三三三	五、三三三
根室支應管内	一、九、三三三	五、三三三	五、三三三
網走支應管内	二、〇、三三三	六、三三三	六、三三三
宗谷支應管内	二、一、三三三	六、三三三	六、三三三
留萌支應管内	二、二、三三三	六、三三三	六、三三三

職業政策に關する聯合國最高司令部の日本政府に對する覺書

聯合國最高司令部は一九四五年十一月二十八日附を

以て、日本政府に對し、各種勞働條件に關し、國籍、宗教、社會的地位等に依り差別待遇をせざることを、其の他左の如き覺書を送つた。

聯合國最高司令部一九四五年十一月二十八日附（CL O 經由）

AG三三〇・一四（二八四五）ESS/LA
NO四五

日本政府ニ對スル覺書

職業政策ニ關スル件

一、日本帝國政府ハ勞務者ニ對シ、民業ト官業トヲ間ハズ其賃金、勞働時間、勞働條件ニ關シ國籍、宗教、社會的地位ニヨリ差別ヲナシ又ハ許容スルコトナキ様確實ニ措置スベシ

二、朝鮮人、臺灣人及支那人ニシテ復員ヲ欲セズ日本ニ留ルコトヲ望ミシ者ニハ就業ニ關シ日本人ト比較シテ同等ノ權利、特權、機會ヲ保證スベシ

三、朝鮮人、臺灣人及支那人ニシテ引揚ヲ待チ居ル者ガ進駐軍ニ就業スルニ關シテ差別ナク其機會ヲ與フベシ斯ル勞務者ハ凡テ日本人勞務者同等ノ率ヲ以テ賃金ノ支拂ヲ受クベク且進駐軍ニ作業スル日本人勞務者ニ與ヘラル凡ニ恩典ニ與ラシムベシ

四、日本政府ハ復員軍人ニ對シ單ニ軍務ニアリシ故ノミヲ以テスル差別的就職入學ノ便宜ヲ規定スル種類ノ凡ニ法律命令規則、條例條項廢止撤廢ヲ指令ス

五、本覺書受領ノ通告及探ラレタル處置ノ報告ハ最高司令部ニ致スヤウ指令ス

在外同胞數調査

終戦後の在外同胞數に付外務省の發表に依れば昭

二十年十一月末現在で、その終戦當時、引揚及在留者數は左の如くである。

在外同胞員數調 外務省管理局調（昭和二十年十一月末）

地域別	終戦時	引揚済	在留現在
華北(含蒙疆)	三三,〇〇〇	九,〇〇〇	三〇,〇〇〇
華中	一四,〇〇〇	—	一四,〇〇〇
華南(含香港)	一六,〇〇〇	一,〇〇〇	一五,〇〇〇
滿洲(含關東)	一三,〇〇〇	—	一三,〇〇〇
北部朝鮮	三七,〇〇〇	—	三七,〇〇〇
南部朝鮮	四一,〇〇〇	三〇,〇〇〇	一一,〇〇〇
樺太	五〇,〇〇〇	五,〇〇〇	四五,〇〇〇
臺灣	三〇,〇〇〇	—	三〇,〇〇〇
南洋群島	二四,〇〇〇	一,〇〇〇	二三,〇〇〇
シヤム	三,〇〇〇	—	三,〇〇〇
佛印	七,〇〇〇	—	七,〇〇〇
ビルマ	二,〇〇〇	—	二,〇〇〇
フィリッピン	一八,〇〇〇	九,〇〇〇	九,〇〇〇
舊軍政地域	四〇,〇〇〇	—	四〇,〇〇〇
計	三三三,〇〇〇	三三,〇〇〇	三〇〇,〇〇〇

備考

(1) 南部朝鮮ヨリノ引揚者中ニハ滿洲及北部朝鮮ヨリノ引揚者ヲ含ムモ内譯不明ナリ。

(2) 終戦時在留同胞中ニハ原則トシテ現地召集者ヲ除キオオルモ實狀判明セザルモノアルニ付正確ヲ期シ難シ。

軍事保護院官制中改正及醫療局官制の制定

政府は軍事保護院を保護院に改正すると共に、新に醫療局を厚生省に設置することとし、昭和二十年十二月一日夫々左の如く官制の改正及新定を公布した。勅令第六百九十號（昭和二十年十二月一日）

軍事保護院官制中左ノ通改正ス
「軍事保護院」ヲ「保護院」ニ改ム

第一條第二號中「(軍人遺族)」ヲ「(遺族)」ニ、同條第三號中「(軍人家族)」ヲ「(家族)」ニ、同條第四號中「(軍人援護)」ヲ「(軍事援護)」ニ改メ同條第二號中「(療養)」ヲ削ル

第二條第一項中「(事務官) 專任十九人」ヲ「(事務官) 專任四人」ニ、「(理事官) 專任二十五人」ヲ「(理事官) 專任四人」ニ、「(技師) 專任十六人」ヲ「(技師) 專任一人」ヲ削ルト

「(技師) 專任七人」ヲ「(技師) 專任一人」ニ改メ「(技師) 專任七人」ヲ「(技師) 專任一人」ニ改メ「(技師) 專任七人」ヲ「(技師) 專任一人」ニ改メ「(技師) 專任七人」ヲ「(技師) 專任一人」ニ改メ

「(技師) 專任七人」ヲ「(技師) 專任一人」ニ改メ「(技師) 專任七人」ヲ「(技師) 專任一人」ニ改メ「(技師) 專任七人」ヲ「(技師) 專任一人」ニ改メ「(技師) 專任七人」ヲ「(技師) 專任一人」ニ改メ

「(技師) 專任七人」ヲ「(技師) 專任一人」ニ改メ「(技師) 專任七人」ヲ「(技師) 專任一人」ニ改メ「(技師) 專任七人」ヲ「(技師) 專任一人」ニ改メ「(技師) 專任七人」ヲ「(技師) 專任一人」ニ改メ

「(技師) 專任七人」ヲ「(技師) 專任一人」ニ改メ「(技師) 專任七人」ヲ「(技師) 專任一人」ニ改メ「(技師) 專任七人」ヲ「(技師) 專任一人」ニ改メ「(技師) 專任七人」ヲ「(技師) 專任一人」ニ改メ

第六條中「(軍人援護)」ヲ「(軍事援護)」ニ改ム